

「小諸市動物園 将来構想 素案」に対する意見募集の実施結果

1 意見募集の概要

(1) 意見募集の期間

平成 31 年 3 月 5 日（火）から平成 31 年 3 月 30 日（土）まで

(2) 素案の公表方法

①小諸市ホームページへの掲載

②小諸市役所（1階情報コーナー・2階商工観光課窓口）、市立小諸図書館、懐古園事務所、小諸市文化センター、こもロッジに閲覧用として設置

(3) 意見募集の方法

①郵送

②電子メール

③ファックス

④直接持参（懐古園事務所）

2 意見募集の結果

(1) 意見等の提出者

11名

(2) 意見等の件数

37件

(3) 提出方法の内訳

①郵送 1名

②電子メール 3名

③ファックス 5名

④直接持参 2名

(4) 提出された意見等の概要とそれに対する市の考え方 別紙のとおり

意見等の公表にあたっては、意見提出者の意図が伝わるよう、基本的にいただいた意見の原文に沿った形で掲載しています。

なお、今回の意見募集については、「小諸市動物園 将来構想（案）」に対する意見募集ですので、構想案に直接関係のない意見等につきましては、「今回の意見募集に関する事項ではありませんので、回答を差し控えます」と記載してあります。

また、今後将来構想を基に基本計画等の策定を進めていきますので、園内施設や動物種、運営面等でいただいた具体的な提案につきましては、計画等策定のなかで検討又は参考とさせていただきます。

「小諸市動物園 将来構想 素案」に対して提出された意見等とそれに対する市の考え方

提出された意見：ゴシック体

市の考え方：明朝体

○意見等提出者A

(件名1)

現在、小諸市動物園は、懐古園・駐車場、動物園、遊園地の一環として特別会計がとられ、いわば市財政と切り離された特別会計の独立採算制で運営されています。そのなかで動物園は、とりわけ厳しい財政状況に置かれています。従ってこの状態から少しでも脱却するためには、公費（税金）の導入が避けられないと思います。また、公費のみに頼るのではなく、クラウドファンディング等の手法も取り入れ多角的方法で財源を確保すること。

(市の考え方)

民間活力を利用する運営方法等について、今後検討します。

(件名2)

各動物の飼育小屋・獣舎の配置計画を立て、全面的に改築、新築すること。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

(件名3)

各動物の飼育小屋・獣舎の前にその特徴、エピソードなどを看板に書いて掲示すること。できるだけ観客の興味を引くような面白い内容のものにすること。

(市の考え方)

運営計画策定の際に参考にさせていただきます。

(件名4)

動物園のガイド「動物解説員を」おき、テーマに沿って動物の不思議さや動物園の楽しみ方をわかりやすく紹介すること。

(市の考え方)

運営計画策定の際に参考にさせていただきます。

(件名5)

インターネットに「天王寺動物園」(全国で3番目にできたもの)の「天王寺動物園10(イチマル)計画」が載っているので、参考にできるところを小諸市動物園の改築新築計画の計画に取り入れること。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

○意見等提出者B

小諸市動物園には、ほぼ毎春、写生大会で中学生とともに訪問させていただいております。また、私自身も幼少時より一番身近な動物園として何十回となく訪ね、ゾウやアシカ等が飼育されていた頃を懐かしく振り返ることがしばしばです。これまで貴園のシンポジウムにも参加させていただき、アンケートで回答も申し上げました。素人意見ではありますが、動物園好きの一人として貴園の発展を願う立場から私見を述べます。参考にできることがありましたら、目を留めていただければ幸いです。貴園が小諸の地において、歴史を引き継ぎ、100年に向けて再生することを心より期待しております。飼育員の皆様、応援しております。

(件名6)

剥製の撤去を早急にしてほしいです。くすんで痛んだ標本をわざわざ見たい人はいないと思うからです。スペースが空けば、新たな可能性を作る場ができます。せっかくの藤棚の美しさが活かされていないのが残念です。開花時期には観光客の方々が盛んにスマホを掲げていました。(特に中国の方)花壇やトイレを整備することも美しい動物園、また訪れたい動物園には肝要な項目になるかと思いません。(花もチョウがよく訪れるブッドレアフジバカマがあるとより魅力的になるかもしれません。)

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

(件名7)

モルモットの行進、ペンギンの「流しアジ」は集客には効果があると思います。特にモルモットの行進は他県の動物園でも実施されて人気を集めていたイベントだけに、それが貴園でも実施され今後に期待しています。その意味でモルモットのアピールをより強くし、繁殖も力を入れてほしいと思います。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

(件名8)

クジャクやオシドリの魅力が伝わる飼育、展示の改善はできないでしょうか。例えばですが、クジャクをシカ舎隣の鳥舎で展示すれば、ドーム型なので、多面的に来園者から観察できますし、高い止まり木に止まったクジャクの尾羽の美しさも見せられると思うからです。(寒さ除けは必要でしょうが。)オシドリは貴園でも繁殖しているようですので、ヒナが巣箱から飛び出す生態や、モミジやマツなどの植え込みを入れた展示が可能ならば、懐古園の風情にも合致した「和の風情」も楽しめるかと思えます。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

(件名9)

飼育舎の撤去、改善は大変かと思いますが、例えばツキノワグマ舎は、仮に新たなクマが保護されて飼育しても、以前と同じように「狭くてかわいそう」の心情だけが来園者に伝わってしまうので安易にクマの再展示をしないことを希望します。特に子供達(中学生も含めて)は、動物たちの過酷な

飼育環境にはとても敏感なので、その点からしても、クマ舎を再び使うことは避けるべきと思います。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

(件名 10)

アルパカとの触れ合い

古城の石組とマチュピチュの印象が重なるような貴園であれば、園外でも観光客の方との触れ合いができるのではないかと常々思う所です。もちろん購入するにはお金もかかるかとは承知しておりますが。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

(件名 11)

ミーアキャット（またはプレーリードッグ）の飼育はできますか。集団でせわしく活動し、冷暖房も特に留意しなくても飼育可能な小動物の生態が観察できる「小山」のような展示も見たい気がします。家族連れも喜ぶ展示になるような気がします。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

○意見等提出者C

(件名12)

コンセプトは「森の中の憩いの場」

懐古園を取り巻く土地（谷、斜面）に動物園、遊園地、植物園などを造る。

森を活かし、上記施設をエスカレーター、吊り橋、ケーブルカーなどで繋ぎ、信州小諸の清純な空気を堪能して、疲れた人など老若男女が自然と笑顔が出るような場所とする。（今の小諸市の街中には日差しを避けるもの無いので、特に夏は街中を歩きたくない。停車場ガーデン等に信州の良い点を活かせずに大変に勿体ないと思う。）費用は寄付金、ふるさと納税、補助金を充て、10年以上の長期間かける。

（市の考え方）

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

○意見等提出者D

(件名13)

現況の動物園の「場所」: 策定の趣旨 基本目標(1. 2. 3)など将来構想(めざす姿)など読み解くと現在地の垂直に近い断崖絶壁な船形台地及び狭隘敷地では不適でないか。(急傾斜警戒区域(ハザードマップによる))

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

(件名14)

広報こもろ11月号H31年1月号、市民懇談会、シンポなどでの専門的な知識を持つ「有識者」の意見など、懐古園の現状の懐古神社との情報が共有されていない。経営史、独立会計などや土地の件。尚、小諸市民にも懐古園の所有権及び名称(登録商標)等、小諸市都市公園とのちがい、情報の説明責任を果たすべきだと思うが。それなくして将来構想できない。

(市の考え方)

小諸城址懐古園全体に関するご意見であり、動物園も懐古園の一部ではありますが、今回の動物園将来構想(案)の内容に直接関係する事項ではありませんので、回答を差し控えます。

(件名15)

特徴的な地形、調査検証を行い、安全を確保されたい。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

(件名16)

市のハザードマップでは動物園一帯は急傾斜警戒区域及び土石流警戒区域に指定されている。「急傾斜地崩落危険区域」とは崩落による災害の防止に関する法律で検討すれば、細長い台地ですので崩落危険区域(10m+10m)除外すれば工作物(獣舎等施設)や池、給排水路、飼育管理のバックヤード整備の土地面積が無い。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

(件名17)

来園者、飼育係員の生命を保護、財産を守る、失われる、あつてはならないことです。土質調査でも地震(地震6~)以上想定すれば……。想定外は許されない。小諸市が今まで施工した擁壁工、法面保護工等の対策工事で安全を確保するとなると、巨額の費用、公園の名勝、史蹟指定と自然環境の破棄となります。その場合将来構想どころか後世に禍根を残すことになる。

※まずは場所選定するべきで、その上で小諸市動物園の整備と財源と組織体制の構築することを念じます。

※専門的な知識や経験を持つ有識者の意見を踏まえての策定もよいが、「懐古園」と「小諸公園」の意味が市民も有識者にも共有されていない。

現況を情報共有する（自治基本条例にもそって）ことで、将来の動物園を含めた市民の為の「都市公園」になると思う。

1、基本目標3に、

先人が残してくれた歴史をつなげ…、とあります。

・策定の趣旨の中で、

小諸市動物園は、大正15年に開設された全国でも5番目、県内最古の歴史を持つ動物園です。小諸城址懐古園内にあり、小さいながらも市民の皆さんを…と記述されている。

ならば、先人が残した…

大正14年、15年頃 当時の小諸町の隅部親信町長の名で、町民の為に公園整備された事項を掘り下げていただき、当時の理念や事業内容（財源や規模等）参考の為に調査の上、広報等で知らせていただきたい。そして昔の写真やニュース記事など、構想の中で生きてくるでしょう。

一節には、旧士族会が有名な本田静六博士に設計を依頼し、公園を整備してきたとの話で懐古園にまつわる話になってしまっている。誤った物語にならず、本当の誤解の無い、先人が残してくれた歴史をつなげるためにも、公園事務所の責任でお願いします。

（市の考え方）

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

○意見等提出者E

私は S45 年（1970 年）小諸に嫁ぎ、最初に懐古園へ主人が案内してくれ、動物園にも行きました。そこで思った事は、こんな小さな動物園でも、象のはな子を始め、大型動物からフラミンゴなどたくさんの生き物がひしめきあっていて、目と心をいやしてくれました。今はその陰もなくとてもさみしいです。又、懐古園側から見ると裏側が丸見えでボロが丸出しです。昔のように 1 人でも多く人を惹きつける動物園になってほしいですね。

（件名 18）

猿山等作って開放感あるものにする。

（市の考え方）

基本計画策定時に検討します。

（件名 19）

亡くなってそのままではなく、補充がほしいです。

（市の考え方）

基本計画策定時に検討します。

（件名 20）

畜舎も古いので明るく安全に見学できるように、又、えさやりスポットもほしいです。

（市の考え方）

基本計画策定時に検討します。

（件名 21）

料金所の近くに案内板もほしいです。

（市の考え方）

運営計画策定の際に参考にさせていただきます。

○意見等提出者F

(件名22)

将来は大型の野生動物を入れるのは止めてほしいのです。昔、昭和の頃、懐古園には熊や象がいました。特に熊は脆い小さなコンクリート造りの部屋に入れられ、中でウロウロ歩きまわって棒をかじっているだけ。そんな様は可哀想で子ども心に見ていただけませんでした。本来は大自然の中で生きていられたであろうに、無理やり見せ物だけのために生きているのかと…

あの子ども心にかわいそうとうつた強烈な光景が、印象が、何十年たった大人になった今でも心の中から消えず、同じ思いからライオンを見るにしのびなく懐古園へいっても動物園に足を踏み入れることはありません…そんな人もいる…ということで、よろしくご検討頂ければ幸いです。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

○意見等提出者G

(件名23)

全国に先がけて小諸動物園が長きに渡り、近隣の市町村の方々からも親しまれてここまで来られた事は、とても嬉しく思っております。私は小諸市がこれからも若者が大勢いる活気に満ちたにぎやかな小諸市になってほしいと願っている1人です。小諸市の特性として近隣の市町村になくて小諸市にあるものとして動物園や今あるような遊園地があると思います。未来ある子供達と小諸のためにぜひ新しい動物園、遊園地をお願いします。これを無くしてしまうという事は小諸に近隣から子供達が来なくなってしまうと考えられ、ますます寂しい市になってしまいます。大型デパート（東急、ジャスコ）が去り、新幹線が通らなくなった今これからの小諸の発展にはぜひ必要なものだと思います。今の動物園の場所は狭く、建物も古く、動物にとってもかわいそうなので改築して明るい色調のきれいな建物にして下さい。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

(件名24)

信濃鉄道の車窓から懐古園三の門がよく見えるように道路の塀を見通しの良い物にしていただきたいです。

(市の考え方)

今回の意見募集に関する事項ではありませんので、回答を差し控えます

(件名25)

桜、紅葉の名所になればうれしいです。春、飯綱山は小諸八重枝垂れ桜として、秋、懐古園動物園周辺には秋のもみじの紅葉としてアスレチック、芝生広場等いかがでしょうか。(とらさん会館周辺、キャッスルホテル周辺等の利用は可能なのでしょうか。)

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

(件名26)

懐古園への道程として考えるならば三の門を通過して入場したほうが良いと思います。例えばですが、駐車場は、小諸駅前南側駐車場を普通車用として駅の陸橋使用で懐古園へ。大手門駐車場を大型バス用として駐車場ガーデンを通過して懐古園へと出来ればとらさん会館周辺、キャッスルホテル周辺を他に活用できるかもしれません。高峰高原、布引観音、千曲川懐古園等あり、観光にもう少し力を入れていただければ、にぎやかな市になっていくのではないのでしょうか。アピールも大切だと思います。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

○意見等提出者H

(件名27)

めずらしい、こわい、大きい動物も物珍しくて見たいとは思いますが、身近でかわいらしい動物と触れ合えるような参加型のスタイルを多くして頂きたい。

(市の考え方)

基本計画策定時に参考にさせていただきます。

(件名28)

先日長老のインコが亡くなってしまいましたが、動物園の顔となる何かがあると良いですね。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

(件名29)

淡水生物の展示：今では見ることの少なくなった魚、虫、両生類を種の保存も兼ねて生育・展示する。ジンケン、カジカ、メダカ、ゲンゴロウ、タニシ、沢ガニ。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

○意見等提出者 I

資料より抜粋

2016年11月懐古園運営委員会への「小諸市動物園のめざすべき姿」を諮問

「市民をはじめ多くの人に愛される小諸市動物園の再整備を行うことは必要である」との答申

【答申内容】

専門的な知識や経験を持つ有識者の意見を踏まえ将来構想を策定すること。

構想策定にあたっては、市民の声も反映させること。

特徴的な地形のため調査検証を行い安全の確保。

*1 再整備の着実な実行に向けた財源確保と組織体制の整備。

*2 再整備後の健全な運営に向けた体制の構築をすること。 等々

*3 動物園では、来園者が新たな「発見」「驚き」「感動」に出会い何度でも行きたいと思ってもらえる環境づくりが大切です。市民をはじめ来園したみなさんが、小諸市動物園のファンになって、これからは一緒に動物園を盛り上げてもらえるように、めざす姿を実現するため

次の3つの基本目標を柱にすすめます。

目標 1…人と動物が快適に過ごせる動物園

目標 2…動物とふれあい、自然の大切さを楽しく学べる動物園

目標 3…みんなで支え、未来につなぐ動物園

将来構想に基づく再整備の具体的内容及び整備順序は、基本計画で決めていくものとしますが、大きな流れとして、内閣府の地域再生計画に認定された

*4『日本版 DMO「こもろ観光局」を核としてオール小諸で取り組む観光地域プロジェクト』の中で、動物園・遊園地を含む懐古園の魅力強化事業を行う

日本版 DMO 国土交通省・観光庁 ホームページより

日本版DMOは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

このため、日本版DMOが必ず実施する基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）としては、

- (1) 日本版DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- (2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- (3) 関係者が実施する観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーションが挙げられます。

また、地域の官民の関係者との効果的な役割分担をした上で、例えば、着地型旅行商品の造成・販売やランドオペレーター業務の実施など地域の実情に応じて、日本版DMOが観光地域づくりの一主体として個別事業を実施することも考えられます。

私は、半世紀ほど生きてきましたが動物園・水族館へ行った記憶を辿ってみると下記。

小諸動物園 1 小学校時代の写生大会、小諸動物園 2 子供とともに、上野動物園 中学の修学旅行、

茶臼山動物園 子供とともに、須坂市動物園 コンサートの前の余暇で、直江津水族館 海水浴の帰りに。小諸動物園に関しては、2回。何度でも行きたい、ファンという位置づけには残念ながら程遠い存在です。市民・観光客の皆さんの感覚はどんなでしょうか…？

感覚的なものですが、目指す動物園にするには相当の努力と覚悟が必要で、また思い付きではなくデータに基づく分析で何をしたらそうなるのかを考え抜かないとその達成は難しいのでは…と思っています。

(件名 3 0)

【意見 (1)】

今回のパブリックコメントの募集は、前回の太陽光ガイドラインの時と違い、地区の回覧板による周知がありました。募集を知る機会を増やして頂いたことに感謝です。広く意見を募集しよりよい施策にすることを目的とするパブコメ。まずはいかに多くの人に募集のことを知ってもらうかだと思っています。今後ともパブコメの際は、ホームページのみでなく様々(広報こもろ、回覧板等)な方法で「募集をしている」ということは是非、伝えて載きたいです。市のホームページは見ない人、見る環境が無い人も多くいると思っています。

(市の考え方)

小諸市として広く意見募集できるよう配慮していきます。

(件名 3 1)

【確認(1)】

2016年11月懐古園運営委員会の答申で言われている

*1 再整備の着実な実行に向けた財源確保と組織体制の整備。

*2 再整備後の健全な運営に向けた体制の構築をすること。 等々の詳細(特に収支の現状と今後の見通し)を教えてください。

(市の考え方)

再整備に必要な金額や財源、組織体制等につきましては、今後の基本計画等の策定において検討します。

(件名 3 2)

【確認(2)】

何度でも行きたい、小諸市動物園のファンという位置づけを目指す為の3つの目標では抽象的で何をしようとしているかのイメージが湧かない。具体的に何をしようとしているかを教えてください。

(市の考え方)

基本構想で掲げた基本目標を柱に、今後基本計画等を策定し、具体的な整備に向けすすめていきます。

(件名 3 3)

【意見(2)】

再整備のスケジュールを見ると

①基本構想・基本計画を作りながら

②ハード・ソフト面の実施計画を作り整備していく。となっていますが

①基本構想・基本計画 立案→協議→確定

②実施計画（ハード・ソフト面）策定→整備 の順番ではないでしょうか…？

（市の考え方）

現在策定を進めている基本構想と基本計画につきましては、共に 2025 年度までの期間としていきます。基本構想につきましては、今回いただきましたパブリックコメントを反映し、近々策定となります。また、基本計画は今年度中に策定できるよう進めていきます。なお、基本計画の策定後、基本設計、実施設計の順番で進めていきます。

（件名 3 4）

【意見(3)】

*4『日本版 DMO「こもろ観光局」を核としてオール小諸で取り組む観光地域プロジェクト』の中で、動物園・遊園地を含む懐古園の魅力強化事業を行うとのこと。

*5 日本版 DMO が必ず実施する基礎的な役割・機能として

*6(2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、K P I の設定・P D C A サイクルの確立 があります。

「こもろ観光局」がこの将来構想(案)の策定にあたって分析・検討・協議されたと思われる収集、分析した各種データとその分析に基づく戦略、設定した目標数値、現状の課題とその対応策(PDCA)等の情報開示が現時点で必要と思います。ぜひ情報開示をお願いします。

（市の考え方）

（一社）こもろ観光局では、今回の動物園の将来構想（案）の策定にあたって、分析や検討等はされていません。

○意見等提出者 J

この度は、このような機会を与えていただきましたことを心より感謝しております。私のこの度の意見は、皆様と同様、純粋な気持ちで小諸を愛している者の1つの意見と捉えていただき、他にもさまざまな意見があると思われませんが、それらを市民の皆様に見える、理解していただける形で議論し、決定いただくことを願って意見させていただきます。

現在、国の政策も観光産業が今後の成長産業の1つと捉えられております。小諸市におきましても観光を核としたまちづくりに軸足をおき今後の政策決定をして行くべきと考えます。昨年、こもろ観光局も発足し表向きには体制は整いましたが、ご心配していただいているとおりの内容が乏しく、方向性も示されていない為、各々の課題に対しての対処策が十分な議論もないまま、方向性がないがゆえに、目先だけの、補助金ありきの決定になってしまっているのが現状だと常々感じております。※1 参照

(件名 35)

この度の「小諸市動物園将来構想(案)」につきましてもまず小諸市の観光の方向性のないまま存続を決定してはいけないと考えます。小諸市民が小諸に誇り、プライド、自信を取り戻せる観光の方向性(柱)は何かを考えた時、まずは小諸市の宝(オンリーワン)を明確に具体的に何なのかその答えは平成28年「観光地域づくりビジョン検討会」で策定され、市長に答申されました。「小諸市観光地域づくりビジョン」JTB 会長田川博己著「観光先進国をめざして」デービット・アトキンソン著「新観光立国論」クリス・グレン著「豪州人歴史愛好家 名城に行く」等を参考に考えられます。小諸の宝は、日本最強の観光資源である＝小諸城です。仮に「小諸城址復元を目指したまちづくり」というビジョン、方向性になるとしますと、今回の「小諸市動物園将来構想(案)」に対する意見は、方向性。特急、急行が止まる信越線があった時代には、市民近隣住民懐古園来園者にとりましては大きく貢献していただいたと感謝しておりますが、その役割は終わった。狭い土地、オリの中で飼育すること、ライオン等熱帯に暮らす動物にとっては過去すぎる環境(ストレス、動物虐待)である。総合的に判断すると閉園することが、地域全体のため、将来の持続可能な自治体運営のためには避けて通れない決断になると考えます。最後に、今後の行政議会運営には現実「※1 参照」から目を背けることなく真摯に受け止め、市民の納得できる説明責任を果たしていただき、反対署名が起こるような課題に対しては、住民投票していただき、全市民益、少なくとも過半数の市民の賛同を得られる方向に血税を使用していただきたいと望みます。

※1 小諸新聞 平成31年掲載記事

「活発な議論、今こそ必要」柏木博美 元議員(4期16年)

25日閉会した新しい議会に対する要望

ここ最近の議会は議員同士や、市民、行政との議論が不足している。コンパクトシティ構想が持ち上がった頃から小諸市は多くの大型事業を急ぎ過ぎている。将来的な財政負担に危機感を持ちながらも行政も議会も「補助金ありき」の流れを止められない。「補助金申請の提出期限に間に合わない」と急がされ、結果的に事業費がかさんでいった。脇本陣改修の事例もある。議論がないままにまちの衰退に流されてしまうことは避けてほしい。

(市の考え方)

懐古園運営委員会への諮問に対する答申等を踏まえ、今回基本構想を策定し、動物園再整備を進めていきます。再整備にかかる経費については、民間活力を利用する運営方法等も検討しながら進めます。

○意見等提出者K

具体案が一つもなく驚きましたが、行動展示に向けた幾つかを。

今までは、窮屈な檻に入れられていて動物虐待では？と思えるような、見ているこちらまで息が詰まるような動物園でした。丸太を器用に回して遊んでいた熊も、ストレスの回避行動だったかと思うと可哀想になります。

(件名36)

改善案としては、飼育員さんや関係者の要望、現状での問題点を最優先に検討していただきたいと思います。

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。

(件名37)

動物と触れ合えるコーナー、放し飼いの動物を眺めながら喫茶できるスペース、テナガザルの綱渡りの行動展示、不要なモノの撤去（剥製の展示物とか）、景観の再整備

(市の考え方)

基本計画策定時に検討します。